



OFFICIAL NEWS LETTER

12 Nov. 2015 Vol.233

J.LEAGUE™ NEWS



© J.LEAGUE PHOTOS

大会最多優勝記録を更新した鹿島。キャプテンの小笠原 (ボードの前)を中心に、盤石の試合運びを見せての快勝だった

鹿島アントラーズが3年ぶり6度目の優勝

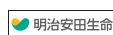
優勝回数は大会最多を更新。決勝のMVP賞は小笠原満男、ニューヒーロー賞は赤崎秀平と鹿島勢が受賞

鹿島アントラーズの大会最多記録を更新する6度目の優勝か、ガンバ大阪の2連覇か。Jリーグ創設以来の名門クラブの対決として注目された「2015 Jリーグヤマザキナビスコカップ」決勝は、10月31日に埼玉スタジアム2002で行われ、鹿島が3-0の快勝で3年ぶりの優勝を飾った。鹿島には優勝賞金1億円、Jリーグカップ(チェアマン杯)、ヤマザキナビスコカップ(スポンサー杯)、メダルが、準優勝のG大阪には賞金5千万円、Jリーグ楯、メダルが、それぞれ授与された。準決勝で敗れたアルビレックス新潟、ヴィッセル神戸には、共に3位の賞金2千万円が贈られた。決勝のMVP賞はMF小笠原満男、ニューヒーロー賞はFW赤崎秀平と、いずれも鹿島の選手が受賞した。(2~3ページに関連記事)

J.LEAGUE™ TITLE PARTNER



J.LEAGUE™ TOP PARTNERS



2015 J.LEAGUE YAMAZAKI NABISCO CUP FINAL

鹿島の2点目をヘディングで決める金崎。両チームを通じて最多となる7本のシュートを放つなど、攻撃をリードした

2015年10月31日 13:10キックオフ 埼玉スタジアム2002

鹿島アントラーズ 3 0 ガンバ大阪

【入場者数】5万828人

【得点経過】

【主審】家本 政明

60分 1-0 (鹿) ファン ソッコ

【副審】八木 あかね／磐城 巧

84分 2-0 (鹿) 金崎 夢生

【第4の審判員】榎本 一慶

86分 3-0 (鹿) カイオ

攻守に充実の 鹿島アントラーズが快勝

国内主要タイトルは17冠に

〈参考〉鹿島の国内主要タイトル獲得歴

J1リーグ戦(7): 1996、1998、2000、2001、2007、2008、2009

Jリーグヤマザキナビスコカップ(6): 1997、2000、2002、2011、2012、2015

天皇杯全日本サッカー選手権大会(4): 1997、2000、2007、2010

鹿島アントラーズはキックオフ直後から果敢に攻め込んだ。「戦うところ、勝利に執着する」というところでは、非常にいい(試合への)入りができた」とキャプテンのMF小笠原満男。FW金崎夢生、MF遠藤 康らの突破、コンビネーションプレーを駆使し、FW赤崎秀平による相手ディフェンスライン裏への走り込みなど、多彩な攻撃で次々に得点チャンスをつくった。

前半こそ無得点に終わったものの、後半に入っても攻勢は衰えず、60分に均衡を破った。左CKを小笠原が蹴り、相手のマークをうまく外したDFファンソッコがヘディングで決めた。



鹿島に待望の先制点をもたらしたファン ソッコ(14番)

MF柴崎 岳が「個人ではなく、集団でプレスをかけている分、(ボールを)奪いやすかった」と語ったように、守りでは連動してガンバ大阪の攻撃を封じた。

石井正忠監督の交代策も的中した。84分の左CKでは、再び小笠原からのボールを交代出場の19歳、FW鈴木優磨がつなぎ、金崎がヘディングで合わせてゴールネットを揺らした。さらに2分後、小笠原を起点としたカウンターアタックから、やはり交代出場のMFカイオが追加点。シュート数でも24-5とG大阪を圧倒した鹿島が、見事な快勝を収めた。

堅守を基盤にセットプレー、攻守の素早い切り替えから得点を重ねるなど、持ち味を存分に発揮して3年ぶりのタイトルを手中にした鹿島。J1リーグ戦、天皇杯全日本サッカー選手権大会を合わせた国内主要タイトルは、17冠となった。

決勝のMVP賞は小笠原の頭上に輝いた。浦和レッズを1-0で破った2002年に続き、13年ぶり2度目の受賞。チームの全得点に絡んだ活躍もさることながら、守備でも大きく貢献した。石井監督も「こぼれ球への反応、(相手

選手のマークで) 挟み込みのタイミングなど、非常によくやってくれた」と、36歳のベテランの献身をたたえた。

サンフレッチェ広島と対戦した昨年の決勝では2点差をはね返したG大阪だが、長谷川健太監督が「今日は完敗」と潔く負けを認めた。攻守に充実する鹿島の「プレッシャーが速く、前線に攻撃の起点をつくれなかった」(同監督)。

また、この一戦を埼玉スタジアム2002で見守った入場者は5万828人の大観衆。ヤマザキナビスコカップ決勝で5万人を超えたのは、国立競技場で開催されたFC東京 vs 浦和の04年以来、11年ぶりのことだった。



宇佐美の果敢な突破なども実らずG大阪は無得点

2015 Jリーグヤマザキナビスコカップ 決勝トーナメント



【決勝】3-0

【準決勝】

①1-2
②2-0

①2-1
②4-1

①2-0
②2-3

①1-1
②2-2(延長)
PK 9-10

①0-5
②3-0

鹿島
(ACL)

FC東京
(Aグループ1位)

神戸
(Bグループ2位)

柏
(ACL)

名古屋
(Bグループ1位)

G大阪
(ACL)

浦和
(ACL)

新潟
(Aグループ2位)

〈準決勝〉鹿島 vs 神戸
初の準決勝進出を果たしたヴィッセル神戸と対戦した鹿島は、アウェイ、ホームともに勝利して貫録を見せつけ、9度目の決勝に駒を進めた。写真は第2戦でチームの4点目を決めるカイオ

〈準決勝〉G大阪 vs 新潟
初の4強入りを果たしたアルビレックス新潟と顔を合わせたG大阪は、第1戦こそ敗れたが、2試合合計スコアで勝利4度目の決勝進出。写真は第2戦で先制点を決めた遠藤(右から2人目)

【準々決勝・準決勝】表右側のチーム: 第1戦ホームチーム/左側のチーム: 第2戦ホームチーム 【決勝】表左側のチームをホームチーム扱い



就任約3カ月でビッグタイトル獲得に導いた石井監督が宙に舞う



決勝のMVP受賞は2度目となる小笠原。左はヤマザキナビスコ株式会社の飯島茂彰 代表取締役社長



特設ステージへの階段でさわやかに健闘をたたえ合う



スタジアムの外でも多彩なイベントを実施。子どもたちはおなじみのドリブルゲーム、シュートゲームに挑戦した



試合前のピッチ上で行われた恒例のナビスコキッズバトル



入場者にヤマザキナビスコ社製品、大会プログラムなどをプレゼント



Jリーグ女子マネの佐藤美希さん（左）もハロウィーンの仮装で登場したあのキャラクターも？

石井正忠 監督(鹿島)

「試合が進むにつれて、どんどん攻撃的なものを出していける形になり、途中から『今日は勝てるな』という気持ちになっていった。試合終了のホイッスルを聞いたときは、本当にうれしかったというのが正直な気持ち。この優勝は監督の力というわけではなく、やはり選手たちが戦う気持ちを出してくれたことで、つかむことができたものだと感じている。今日の試合では、選手たちが90分間足を止めず、積極的に自分たちの戦う姿勢を見せてくれた。90分間を通して高い意識を持って戦ってくれたことが、この結果につながった。選手みんなが喜んでくれて、サポーターの皆さんが喜ぶ顔を見ることができて、やっぱりタイトルというものは素晴らしいなとあらためて実感した」



©J.LEAGUE PHOTOS

長谷川健太 監督(G大阪)

「選手も最後の最後まで戦ってくれたが、鹿島の力に圧倒されてガンバのサポーターに勝利を、優勝をプレゼントできなかったのは本当に悔しい結果だと思う。(鹿島が)優勝するのにはふさわしいゲームをしたと思うし、なかなか90分を通して活路を見いだすことができなかった。鹿島の勝ちたい、タイトルを取りたいという気持ちが、われわれを凌駕した。雰囲気やコンディショニングも含めて、(選手たちに)いい形で今日の決勝戦を戦わせてあげられなかったのは反省。リーグ戦がまだ2試合残っているの、いい形でシーズンを終わるように、しっかりと切り替えて臨みたい。優勝チームを見る、そのサポーターが喜んでいる姿を見る、これほどエネルギーになるものはない」



©J.LEAGUE PHOTOS

村井 満 Jリーグチェアマン

「鹿島アントラーズの優勝、おめでとうございます。伝統と実績のある両クラブの対戦は、タイトルを懸けた戦いにふさわしい、大変見応えのあるものでした。鹿島は大会史上最多となる6度目の優勝、クラブの歴史にまた一つ輝かしい記録を刻みました。昨年に続き埼玉スタジアム2002での開催となりましたが、埼玉県内の多くの関係者の皆さまに大会運営を支えていただいたことを感謝申し上げます」



©J.LEAGUE PHOTOS

J 2015 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ トピックス

赤崎秀平(鹿島)が ニューヒーロー賞を受賞

2015 Jリーグヤマザキナビスコカップのニューヒーロー賞は、鹿島アントラーズのFW 赤崎秀平が受賞した。同賞は大会開幕時(2015年3月18日)に23歳以下の選手が対象となり、予選リーグから準決勝まで実施した報道関係者の投票を基に、選考委員会で決定。AFCチャンピオンズリーグ2015出場のため決勝トーナメントからの参加となった鹿島にあって、赤崎は準々決勝、準決勝(共にホーム&アウェイ)の4試合に先発出場し、2得点、1アシストなどの活躍で決勝進出に貢献した。

サプライズでの受賞発表は、10月25日に県立カシマサッカースタジアムで行われた「オープンスタジアム2015」のイベント。決勝前夜祭ではヤマザキナビスコ株式会社の飯島茂彰 代表取締役社長から賞金50万円、クリスタルオーナメント、同社製品1年分が贈られた。鹿島の選手では2000年の鈴木隆行、01年の曽ヶ端 準に次ぐ受賞となった赤崎は、「とても名誉のある賞をいただき大変うれしく思う。チームに関わる皆さまのおかげ」と喜びを語った。



イベント中のサプライズ発表。賞品のヤマザキナビスコ社製品と共に

村井チェアマンが埼玉県知事、さいたま市長を訪問

Jリーグの村井 満チェアマンは10月16日に埼玉県の上田清司知事、26日にさいたま市の清水勇人市長を表敬訪問し、昨年に続く決勝開催に向けた各種協力のお礼や依頼、意見交換などを行った。

埼玉県庁を訪れた村井チェアマンは「歴史ある大会を、昨年に引き続きサッカーどころの埼玉で開催できることに感謝しています」と話し、上田知事は「決勝に埼玉のチームがいないのは残念ですが、ことしも埼玉スタジアム2002で開催していただき非常にうれしく思います」と感謝を述べた。

また、さいたま市役所では村井チェアマンが「さいたま市民の一人として街にスポーツがあふれていることを非常にうれしく思います」と述べ、清水市長は「Jリーグが地域とスポーツを近づけてくれました」と答えた。



村井チェアマン(左)は埼玉県の地域活性化に向けた取り組みなどについても語った。右は上田知事



清水市長(右)とはスポーツによる街づくりなどで意見交換

「市立吹田サッカースタジアム」竣工イベント開催

臨場感あふれる舞台。今後の建設モデルとしても期待

ガンバ大阪が来シーズンから新たなホームスタジアムとして使用する「市立吹田サッカースタジアム」の竣工イベントが10月10日に行われた。その名のとおりサッカー専用のスタジアムで、何よりピッチと観客席の距離の近さが特長。臨場感あふれる舞台で、オープンの日が待ち遠しい。全国で新スタジアム建設への機運が高まる中、資金調達など今後の良きモデルとしても期待される。

© J.LEAGUE PHOTOS

「祝 竣工」の文字が浮かび上がったコレオグラフィー。ピッチと観客席が一体となって、素晴らしいドラマが生まれる予感が漂う

2015年10月10日、新設された市立吹田サッカースタジアムの竣工イベントが行われた。この日、建設募金を行った4394人の寄付者が集い、欧州テイストの「夢の舞台」に歓声を上げた。

新スタジアムは収容数が約4万人。観客席がタッチラインから7m、ゴールラインから10mと非常に至近であり、最前列はピッチから高さ1.5mにあるため、臨場感あふれる造りとなっている。

全ての座席が屋根でカバーされていることに加え、広いインナーコンコースなど、これまでにない観戦環境。メイン、バック、アウェイ側ゴール裏の3スタンドはビューボックスで分けられる構造だが、ホーム側は全員が一体になって応援できるようになっている。チーム更衣室も

ホーム側はよりチームの一体感が生まれるような造りで、意図的にホームとアウェイに格差を設けている。

300人収容のホスピタリティスペースでは各種のパーティーや企業などの会議を開催することが可能となり、Jリーグが標榜する複合型のスタジアムとなっている。

この他にも、スタジアム内は全てLED照明、太陽光発電、トイレ洗浄の雨水利用など環境への配慮という点でも優れるなど画期的な機能に満ちあふれており、早くも来春に予定されるオープンが楽しみだ。

総事業費は140億8566万5383円。独立行政法人日本スポーツ振興センターが運営するtoto(スポーツ振興くじ)から30億円の助成を受け、その他省庁からの助成を除く105億

7233万円は民間からの寄付でまかなった。「みんな」の力の結集である寄付金、スポーツ振興くじによるJリーグホームスタジアムの新設助成、いずれも日本初の資金調達だった。スタジアム建設募金団体が吹田市に寄贈し、48年にわたって指定管理者となるガンバ大阪が管理運営に当たる。このスキームは、今後のスタジアム建設のモデルになるだろう。

© J.LEAGUE PHOTOS



G大阪の練習場から望む新スタジアムの外観



1回の申し込みで5万元以上を寄付した協力者や法人の名前がプレートに刻まれ、コンコースに顕彰されている



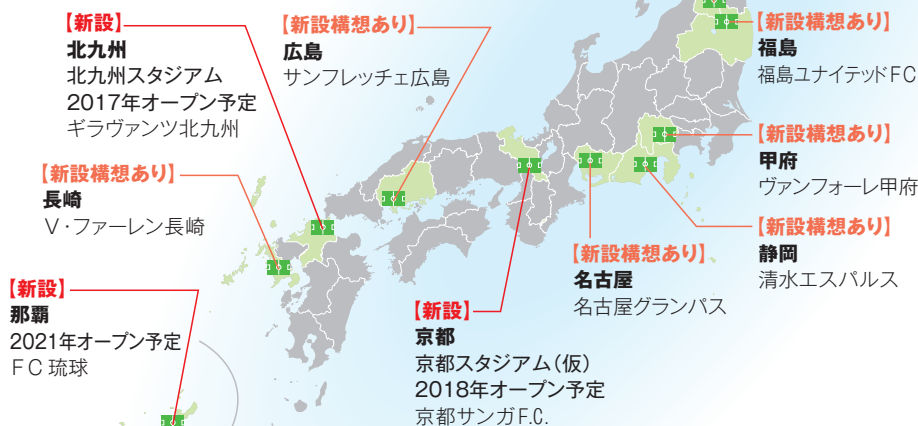
竣工イベントであいさつしたG大阪の野呂輝久 代表取締役社長(左)とJリーグの村井 満チェアマン

■ サッカースタジアムの新設構想



© J.LEAGUE PHOTOS

収容数は約4万人。スタンドを覆う屋根の上にはソーラーパネルを設置してエネルギーを創出



クラブライセンス交付第一審機関(FIB)による 2016シーズン Jリーグクラブライセンス判定結果を発表

Jリーグは9月29日、2016シーズンJリーグクラブライセンス交付についての判定結果を発表した。来シーズンに向けて、昨シーズンと同じく44クラブがライセンス申請を行い、37クラブがJ1クラブライセンス、7クラブがJ2クラブライセンスの交付判定を受けた。

ことしからJ1ライセンス取得に必須のA等級基準となったのが、トレーニング施設。新たにJ1ライセンスを取得したツエーゲン金沢とFC

岐阜は、前者が同施設の改修、後者がスタジアムおよび同施設の改修により、それぞれJ1基準を充足した。一方、ザスパクサツ群馬とカマタマーレ讃岐は、同施設がJ1基準を満たしていないため、J2ライセンスの交付となった。

また、初申請のレノファ山口FCがJ2ライセンスを取得。今シーズンのJ2ライセンスを取得していたガイナレ鳥取は2014年度決算が債務超過のため、J3ライセンスの申請と

なった。判定に付帯する事項としては、クラブの経営改善を促すなどの是正通達、サガン鳥栖に出された。

Jリーグは、日本サッカー協会から日本におけるクラブライセンス制度の制定および運用の委任を受けており、日本におけるライセンス交付機関(ライセンサー)としてJリーグクラブライセンス制度を運営し、Jクラブに対して同ライセンスを交付している。

■判定結果

1. 判定結果

(数字はクラブ数)

J1クラブライセンス	J2クラブライセンス	合計
37	7	
札幌、仙台、山形、鹿島、栃木、浦和、大宮、千葉、柏、FC東京、東京V、川崎F、横浜FM、横浜FC、湘南、甲府、松本、新潟、富山、金沢、清水、磐田、名古屋、岐阜、京都、G大阪、C大阪、神戸、岡山、広島、徳島、愛媛、福岡、鳥栖、長崎、熊本、大分	水戸、群馬、町田、長野、山口、讃岐、北九州	44

—— 昨年J2クラブライセンス→本年J1クラブライセンス ※J3クラブライセンスは、Jリーグ独自にJ3クラブとして最低限必要とされる条件を示したものであり、J1・J2のクラブライセンス制度とは異なる。なお、J3クラブライセンスの交付判定は、Jリーグ理事会の決議事項となっている

~~~~ 昨年J1クラブライセンス→本年J2クラブライセンス

—— J1・J2クラブライセンス初申請

### 2. ホームスタジアムのトイレの数および屋根のカバー率に関するB等級基準の充足状況

|                | J1クラブライセンス | J2クラブライセンス | 合計 |
|----------------|------------|------------|----|
| B等級基準充足        | 9          | 2          | 11 |
| B等級基準未充足(制裁免除) | 10         | 2          | 12 |
| B等級基準未充足(制裁対象) | 18         | 3          | 21 |
| 合計             | 37         | 7          | 44 |

### 3. 判定に付帯する経営上の是正通達

|      | J1クラブライセンス | J2クラブライセンス | 合計 |
|------|------------|------------|----|
| 是正通達 | 1          | 0          | 1  |
| 対象外  | 36         | 7          | 43 |
| 合計   | 37         | 7          | 44 |

## 《参考》

### ■Jリーグクラブライセンスの種類

Jリーグクラブライセンスには下記の2種類があり、各クラブライセンス基準のうち「A等級」に指定されている基準を全て充足すれば、いずれかのJリーグクラブライセンスが交付される。

| 種類         | 内容                                                                           |
|------------|------------------------------------------------------------------------------|
| J1クラブライセンス | 順位などの要件を満たしていれば、2016シーズンはJ1・J2に残留または昇格することができる。                              |
| J2クラブライセンス | 順位などの要件を満たしていれば、2016シーズンはJ2に残留または昇格することができる(J1に昇格することはできず、J1昇格プレーオフの出場資格もない) |

### ■判定に付帯する経営上の是正通達

Jリーグクラブライセンス交付判定に付帯して、クラブ経営上は正すべき点があるとFIBが判断したクラブに対し、是正措置を通達する。

### ■ホームスタジアムのトイレの数および屋根のカバー率に関するB等級基準未充足

各ライセンス基準のうち「B等級」に指定されている基準については、それを充足していなくてもJリーグクラブライセンスは交付される。ただし、Jリーグクラブライセンス交付規則第7条および第15条に基づき、「B等級」の基準の一つでも充足していないクラブには、Jリーグクラブライセンス交付と同時に制裁が科され得る。

#### 制裁対象のホームスタジアムと対象クラブ、制裁内容

| 未充足項目                  | 対象スタジアムとクラブ                                                                                                                                   | 制裁内容                                                                                                                                                                                                           |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| トイレの数(対象:1クラブ)         | ・ヤンマースタジアム長居【C大阪】                                                                                                                             | ・対象スタジアム名を公表する<br>・クラブはトイレの洋式化の計画または構想を2015年12月31日までに提出する                                                                                                                                                      |
| 屋根のカバー率(対象:13クラブ)      | ・栃木県グリーンスタジアム【栃木】<br>・正田醤油スタジアム群馬【群馬】<br>・NACK5スタジアム大宮【大宮】<br>・日立柏サッカー場【柏】<br>・町田市立陸上競技場【町田】<br>・ニッパツ三ツ沢球技場【横浜FC】<br>・Shonan BMWスタジアム平塚【湘南】   | ・山梨中銀スタジアム【甲府】<br>・松本平広域公園総合球技場【松本】<br>・富山県総合運動公園陸上競技場【富山】<br>・ヤマハスタジアム【磐田】<br>・鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム【徳島】<br>・ニンジニアスタジアム【愛媛】                                                                                |
| トイレの数と屋根のカバー率(対象:7クラブ) | ・NDソフトスタジアム山形【山形】<br>・石川県西部緑地公園陸上競技場【金沢】<br>・IAIスタジアム日本平【清水】<br>・パロマ瑞穂スタジアム【名古屋】<br>・シティライトスタジアム【岡山】<br>・エディオンスタジアム広島【広島】<br>・Pikaraスタジアム【讃岐】 | ・対象スタジアム名を公表する<br>・AFC主催大会のホームゲームが開催できない可能性があることを通知する<br>・クラブはスタジアム環境に関する抜本的な施設改善計画に向けた活動計画を2015年12月31日までに提出する<br>・2016年の審査時に活動報告および翌年のクラブライセンス審査時までの活動計画を提出する<br>・活動報告および活動計画に関連し、クラブライセンス事務局が個別文書を発信する可能性がある |

## Jリーグクラブライセンス制度 4年間の振り返り

Jリーグクラブライセンス制度(以下、制度)導入後の4年間は、ライセンス判定における競技、施設、人事体制・組織、法務、財務の5基準で着実に効果を上げてきた。

制度導入時、特に財務基準の内容は、クラブの成長に向けた投資意欲をそぎ、ライセンスの取得基準をクリアするために「コスト削減、守りの経営」=「縮小均衡、フットボールの魅力の低下」を懸念する声もあった。

こうした声に耳を傾けながら、JリーグはJクラブと共に、ライセンス不交付となる「3期連続赤字・債務超過」解消に向けて強い姿勢で臨み、経営健全化の上に「身の丈を大きくする」努力を続けた。その結果、制度導入前の2011年度にあった

3期連続赤字4クラブ、債務超過11クラブは、いずれも14年度はゼロに解消。単年度赤字クラブも同じく18から8へ減少し、経営健全化が進んだ。

以上を踏まえた上での身の丈を大きくする努力も、数字に表れている。営業収入は、11年度(J1・J2 38クラブ)の728億円から14年度(同40クラブ)の838億円へ、110億円の増加。チーム人件費などの営業費用も、同じく729億円から837億円に増えた。青影彰典 Jリーグクラブライセンスマネージャーは「収入規模の拡大が、投資への財源確保につながり、チーム人件費増が魅力あるフットボールクラブづくりに結び付いている」と、緩やかながらも拡大均衡型の経営に移行しつつある現状を解説した。

また、施設基準に関してもスタジアムやトレーニング施設の改善など、大きく前進した4年間だった。この間、長崎県立総合運動公園陸上競技場、南長野運動公園総合球技場、そして10月に竣工イベントを催した市立吹田サッカースタジアムと、Jクラブがホームスタジアムとして使用する三つのスタジアムが新設された。トイレの洋式率は、新設を除いてもJ1・J2のホームスタジアムで48.7%から59.9%にアップ。佐藤仁司 Jリーグスタジアム推進グループ マネージャーは「快適なホームスタジアムになりつつある」と述べた。

経営基盤の強化、競技や観戦などの環境充実が、競技力向上、社会資本としてのクラブの確立につながる。JリーグとJクラブは日本サッカーの発展に向けて、クラブライセンス制度を基にしたさらなる経営強化に取り組んでいく。



## 2016シーズン J3クラブライセンス判定結果 (J3入会を希望するクラブ)

Jリーグは9月24日に開催した理事会で、2016シーズンJ3クラブライセンスの申請があったクラブ(J3入会を希望するクラブ)に関する判定結果について、下記のとおり決定した。

| 判定結果            |             |                 |
|-----------------|-------------|-----------------|
|                 | クラブ名        | 判定結果            |
| Jリーグ<br>百年構想クラブ | アスルクラロ沼津    | J3クラブライセンス交付※1  |
|                 | 奈良クラブ       |                 |
|                 | 鹿児島ユナイテッドFC |                 |
|                 | ヴァンラーレ八戸    | J3クラブライセンス不交付※2 |

※1: J3クラブライセンスが交付された百年構想クラブについては、11月理事会でJリーグ入会を承認され(平均入場者数2000人超、年間事業収入1億5000万円以上などの基準が規定されている)、JFLの競技成績で順位要件(JFL4位以内、かつ百年構想クラブのうち上位2クラブ)を満たせば、J3リーグへの参加が認められる

※2: J3クラブライセンス基準を満たす「多賀地区多目的運動場(仮称)」の完成予定が2016年10月の見通しであり、2016シーズンは開幕から9月までの試合開催において、J3クラブライセンス基準を満たしたスタジアムの確保ができないため不交付

## (既存J3クラブ)

Jリーグは10月13日に開催した理事会で、2016シーズンJ3クラブライセンスの申請があったクラブ(既存J3クラブ)に関する判定結果について、下記のとおり決定した。

| 判定結果                                                              |                   |
|-------------------------------------------------------------------|-------------------|
| クラブ名                                                              | 判定結果              |
| グルージャ盛岡、ブラウブリッツ秋田<br>福島ユナイテッドFC、Y.S.C.C.横浜<br>SC相模原、藤枝MYFC、ガイナレ鳥取 | J3クラブ<br>ライセンス交付  |
| FC琉球                                                              | 11月理事会で<br>継続審議※3 |

※3: FC琉球については、財務状況をより精緻に確認が必要であると判断されたため、11月理事会で継続審議を行うこととなった

【参考】Jリーグ百年構想クラブ(2015年8月現在)

- ・ヴァンラーレ八戸(JFL)
- ・アスルクラロ沼津(JFL)
- ・栃木ウーヴァFC(JFL)
- ・奈良クラブ(JFL)
- ・tonan前橋(関東サッカーリーグ1部)
- ・鹿児島ユナイテッドFC(JFL)

## 9月度の月間ベストゴール、月間MVPが決定

各月の明治安田生命J1リーグで最も優れたゴールを表彰する「月間ベストゴール」の9月度受賞ゴールに、サンフレッチェ広島FW浅野拓磨が2ndステージ第10節のモンテディオ山形戦(9月12日)で79分に決めた得点が選ばれた。月間ベストゴールは、年間で最も優れたゴールに与えられる「年間最優秀ゴール賞」のノミネートゴールとなり、同賞は12月21日(月)に開催される2015 Jリーグアウォーズで表彰される。

また、各月の明治安田生命J1・J2で最も活躍した選手を表彰する「明治安田生命Jリーグコカ・コーラ月間MVP」の9月度受賞選手に、J1は浦和レッズGK西川周作、J2はアビスパ福岡GK中村航輔が選出された。受賞選手には賞金として、J1は30万円、J2は20万円が授与される。



約70mという圧巻の独走から見事に得点を決めた山形戦の浅野



西川は2013、14シーズンに続き3度目の月間受賞



9月の4試合で1失点と福岡の上位進出に貢献した中村



### AFCチャンピオンズリーグ2015準決勝

## ガンバ大阪 1点が遠く決勝進出成らず

AFCチャンピオンズリーグ(ACL)2015は9月29、30日、10月20、21日にホーム&アウェイの準決勝が行われ、日本勢で唯一、勝ち残っていたガンバ大阪の決勝進出は成らなかった。2013年のACLで優勝した広州恒大(中国)と対戦したG大阪は、9月30日に行われたアウェイの第1戦で1-2と敗れた後、10月21日に行われたホームの第2戦が0-0の引き分けに終わり、1分1敗で敗退した。

第2戦終了後にG大阪の長谷川健太監督が「アウェイの負けが最後まで尾を引いた」と語った第1戦は、相手のオウンゴールで先制し

ながらも逆転負け。第2戦では1-0、あるいは2点差以上の勝利が必要となるも、広州の堅守を崩すことはできず、優勝した08年以来となる決勝進出の望みは断たれた。

第2戦は何度か決定機を迎えたが、「(相手の守備を)攻略しかけるところまではいったけど、仕留められなかったのは自分たちの力のなさ」とキャプテンのMF遠藤保仁。60分から出場したFW宇佐美貴史は「あと1点取れていればと思うと、悔しさの募る試合だった」と振り返った。

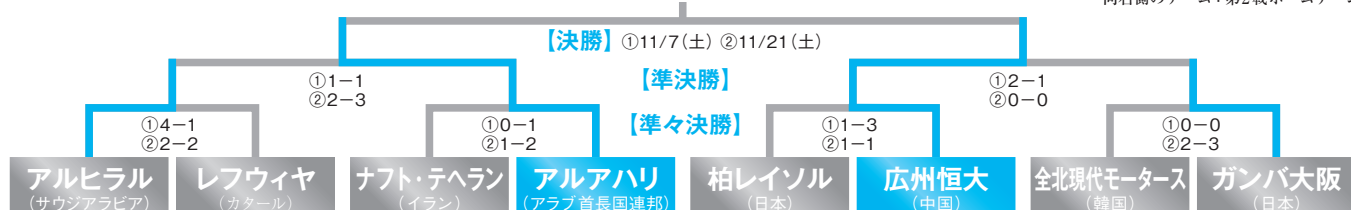
なお、もう一つの準決勝はアルアハリ(アラブ



終盤のパワープレーも実らず無得点に終わった第2戦

首長国連邦)がアルヒラル(サウジアラビア)と1-1、3-2で初の決勝進出を果たした。ACL2015優勝クラブは12月10日(木)~20日(日)に日本で開催されるFIFAクラブワールドカップに、アジアサッカー連盟(AFC)を代表して出場する。

### ■AFCチャンピオンズリーグ2015 ノックアウトステージ





# JFA/Jリーグ協働育成プログラムの一環でJクラブアカデミーを評価

日本サッカー協会(JFA)とJリーグによる協働育成プロジェクトである「JFA/Jリーグ協働育成プログラム」(JJP:JFA/J.League Cooperative Development Programme)の事業・支援概要が明らかになった。同プログラムが目指す、国内トップレベルであるJクラブアカデミーのさらなる向上、Jクラブや都道府県サッカー協会との協働による裾野の拡大とレベルアップなどを実現するため、ことしから2018年の4年間で計20億円の資金を拠

出。国際経験を積むための海外遠征、国際大会開催、指導者の海外研修、全国指導者研修などを支援する。

その一環として新たに取り組むのが、アカデミー評価システムの導入。ベルギーのダブルパス社によるフットパスというシステムを用い、アカデミーのプロセス、パフォーマンスを評価し、改善などを提言する。16年までにJ1・J2全40クラブのアカデミー、JFAアカデミー福島がオーディット(監査)の対象となる。イン

グランドのプレミアリーグやドイツのブンデスリーガなどでも採用されているフットパスによって、独自の分析ノウハウによる第三者の客観評価が可能になる。

Jリーグの村井 満チェアマンは9月24日のJリーグ理事会後の定例会見で、高い評価を受けたアカデミーチームを国際大会に派遣するなどの可能性について言及し、「良いクラブにはより良い環境を与えることも、考え方としてはある」と述べた。

## 2015 Jリーグ U-17 チャレンジカップで横浜F・マリノスユースが優勝

9月21～23日にJ-GREEN堺で開催された「2015 Jリーグ U-17 チャレンジカップ」(主催:公益社団法人日本プロサッカーリーグ、協力:日本コカ・コーラ株式会社)で、横浜F・マリノスユースが優勝を飾った。本大会は初の開催で、ことし3～4月に開催した「2015 Jリーグ U-16 チャレンジリーグ」(5グループで実施)の各グループ上位チームの他、チョンブリFC(タイ)、蔚山現代FC(韓国)、PVF(ベトナム)、杭州绿城FC(中国)の海外4チー

ムを招いて行われた。また、決勝で2得点を挙げるなど横浜FMユースの優勝に貢献した河原地亮太が大会MVPに選出された。大会2日目には、全チームが参加した交流会が催された。

本大会は、独立行政法人日本スポーツ振興センターによる

スポーツ振興くじの助成事業であり、上記JJPの一環としても行われた。



決勝で松本を3-1と下して優勝を飾った横浜FMユース

### 最終順位

- 優勝: 横浜F・マリノス
- 2位: 松本山雅FC
- 3位: 蔚山現代FC(韓国)
- 4位: 鹿島アントラーズ
- 5位: チョンブリFC(タイ)
- 6位: PVF(ベトナム)
- 7位: ジェフユナイテッド千葉
- 8位: 杭州绿城FC(中国)

## 八百長撲滅を目的にインテグリティセミナーを開催



講義を聴くJクラブのコンプライアンス・オフィサー

Jリーグは10月7日に、日本サッカー協会(JFA)、FIFA EWS社(FIFA早期警告システム)と共催し、八百長撲滅を目的とするイン

テグリティセミナーを開催した。セミナーにはJリーグおよび全52クラブのコンプライアンス・オフィサー(コンプライアンスに関わる責任者)のほか、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会、警察関係者ら約160人が出席。日本スポーツ振興センター(JSC)の協力のもと、八百長に対する知識と不正防止の意識向上を促すさまざまな講義が行われた。

セミナーでは、JSCの桶谷敏之氏が「日本のスポーツにおけるインテグリティとは」をテーマに講義し、国際サッカー連盟(FIFA)セキュリティダイレクターやEWS社からFIFAの

取り組みや世界の賭博市場のリアルな現状が紹介された。

講義を聴講した参加者はグループワークを実施。それぞれの立場から広い視野で問題を捉えるべく、活発な意見交換が行われた。

セミナーに出席したJリーグの村井 満チェアマンは「世界中のブックメーカーの間でJ1、J2、J3の全ての試合が賭けの対象となっている。そうした状況にさらされている自覚がなければいけない」と話し、「この問題に対しては一過性ではなく、繰り返し、継続して取り組む必要がある」と対策継続を表明した。

### Jリーグ関連新会社「Jリーグデジタルエンタテインメント(JDE)」

公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)は、株式会社Jリーグメディアプロモーション(JMP)と共同でゲームライセンス事業会社である株式会社エス・アール・ピー(SRP社)の株式を平成27年10月30日に取得し、同11月1日より商号を株式会社Jリーグデジタルエンタテインメント(JDE)とした。なお、JDE代表取締役社長は、JMP代表取締役社長の小西孝生氏が就任(兼務)した。

SRP社はサッカーゲームにおけるライセンス事業会社として1999年に設立。主に国内、海外サッカーなどに登場する、実在のクラブやチームエンブレム、ロゴ、ユニフォーム、選手肖像などを、ソーシャルゲームや家庭用ゲーム、カードゲームなどさまざまなゲーム上で再現する事業を行ってきた。

JDEを通じ、Jリーグが推進するデジタル戦略の一環として、データ、静止画、動画など多様なコンテンツを融合し、魅力的なサッカーゲームの開発や商品化を進めるとともに、放送やインターネット通信など、各種メディアとの連携を強化し、新規顧客へのアプローチを推進することを目指す。

#### SRP社概要

|       |                                             |     |        |
|-------|---------------------------------------------|-----|--------|
| 所在地   | 東京都文京区本郷2-12-10                             |     |        |
| 代表者   | 定永 昭紀                                       | 資本金 | 5000万円 |
| 主たる事業 | サッカーゲームなどのライセンス事業(日本サッカー協会、Jリーグのゲーム商品化権を取得) |     |        |

### バニシング・スプレーを使用中止

Jリーグは今シーズンより導入したバニシング・スプレーについて、明治安田生命J1リーグは10月3日以降、明治安田生命J2リーグでは同4日以降のJリーグ公式試合における使用を中止した。一部製品に液漏れが発生することが判明したため、株式会社モルテンが安全上、品質上の保証が難しいと判断し、製品の回収を決定したことによる。

### 第8回ガンバ大阪スカンピオカップを後援

Jリーグは10月13日に開催した理事会で、同25日開催の「第8回ガンバ大阪スカンピオカップ」(主催:株式会社ガンバ大阪)を後援することを決定した。同大会は、サッカー(フットサル)を通じて、精神障がい者が社会生活に触れる場をつくり、社会復帰や回復への支援を行い、地域との交流を図りながら、精神障がいへの偏見を取り除くことを目的に開催されている。

### 2015 Jユースカップ 第23回Jリーグユース選手権大会決勝の開催スタジアムが変更

ことし11月15日(日)に行われる「2015 Jユースカップ 第23回Jリーグユース選手権大会決勝」の開催スタジアムが下記のとおり変更となった。

| 開催日       | キックオフ | 対戦カード | スタジアム                  |
|-----------|-------|-------|------------------------|
| 11月15日(日) | 11:00 | 未定    | キンチョウスタジアム→ヤンマースタジアム長居 |



# クライマックスを迎えるピッチ上の戦い

2015 明治安田生命 Jリーグも、いよいよクライマックスを迎える。明治安田生命 J1 リーグの2ndステージ優勝争い、Jリーグチャンピオンシップ出場権争いをはじめ、明治安田 J1・J2・J3 各リーグの昇降格争いもますます白熱。タイトル争いや来シーズンの各クラブの命運を左右する大詰めの一戦はどのようなものになるのか。

## 明治安田生命

## J1 LEAGUE



©J.LEAGUE PHOTOS

年間勝点1位は浦和、広島が(2ndステージ第3節)

明治安田生命 J1 リーグは10月24、25日に開催された2ndステージ第15節の結果によって、明治安田生命 2015 Jリーグチャンピオンシップに出場するチームが絞られてきた。

まず、同チャンピオンシップ決勝ヘシードされる年間勝点1位となるのは、浦和レッズとサンフレッチェ広島のどちらか。残り2節で同3位のガンバ大阪との勝点差が8となったからだ。そして、年間勝点3位の可能性を残したのは、G大阪の他、FC東京と横浜F・

マリノスの3チームだ。

また、2ndステージの優勝争いは、首位の広島が2位の鹿島アントラーズに勝点3差をつけるものの、広島に勝点6差で3位の横浜FM、4位のG大阪も他力ながら望みをつないだ。

この結果、第15節終了時点でチャンピオンシップ出場の可能性を持つのは、広島、浦和、FC東京、横浜FM、G大阪、広島の6チームに絞られた。浦和は2ndステージ優勝の望みが消えたものの年間勝点1位を狙い、広島も第16節でステージ優勝が決まる可能性があるとはいえ、11月22日(日)の第17(最終)節まで気が抜けない。年間勝点3位をめぐる争いと合わせ、どのような結末が待っているのか興味は尽きない。

### 明治安田生命 2015 Jリーグチャンピオンシップ

#### 年間優勝

※5チーム出場の場合  
※キックオフ時刻は予定



#### 決勝(ホーム&アウェイ)

第1戦:12月2日(水)19:30 第2戦:12月5日(土)19:30

#### 準決勝(1回戦制)

11月28日(土)14:00

#### 1回戦(1回戦制) 11月25日(水)19:00

| 年間勝点<br>1位 | ステージ優勝<br>(年間勝点上位) | 年間勝点<br>3位 | ステージ優勝<br>(年間勝点下位) | 年間勝点<br>2位 |
|------------|--------------------|------------|--------------------|------------|
|------------|--------------------|------------|--------------------|------------|

#### 【大会日程およびテレビ放送】

| 回戦          | 開催日       | キックオフ | 地上波放送 | BS放送    | BSまたはCS放送 |
|-------------|-----------|-------|-------|---------|-----------|
| 1回戦(1or2試合) | 11月25日(水) | 19:00 | -     | BS-TBS※ | スカパー!     |
| 準決勝         | 11月28日(土) | 14:00 | NHK総合 | BS-TBS  | スカパー!     |
| 決勝 第1戦      | 12月2日(水)  | 19:30 | TBS   | -       | スカパー!     |
| 決勝 第2戦      | 12月5日(土)  | 19:30 | NHK総合 | -       | スカパー!     |

※2試合の場合はいずれか1試合

一方、残留争いも当該チームが次第に限られ、第14節で清水エスパルス、第15節でモンテディオ山形の16位以下が確定。15位以上を目指す戦いは、アルビレックス新潟と、それを勝点6差で追う松本山雅FCの2チームに絞られた。

## 明治安田生命

## J2 LEAGUE



©J.LEAGUE PHOTOS

第35節では磐田(青)と大宮が対決。互いに譲らず2-2で引き分けた

3~6位で J1 クラブライセンスを保有するクラブに参加資格がある J1 昇格プレーオフ出場権をめぐる争いも激烈。また、22位が J3 への自動降格、21位が J2・J3 入れ替え戦出場となる残留争いも予断を許さない。

#### 【2015 J1 昇格プレーオフ】

##### 準決勝

| 開催日       | キックオフ | 対戦カード | スタジアム | テレビ放送                  |
|-----------|-------|-------|-------|------------------------|
| 11月29日(日) | 15:30 | 未定    | 未定    | スカパー! / スカパー!プレミアムサービス |

##### 決勝

| 開催日      | キックオフ | 対戦カード | スタジアム       | テレビ放送                            |
|----------|-------|-------|-------------|----------------------------------|
| 12月6日(日) | 15:35 | 未定    | ヤンマースタジアム長居 | NHK-BS1 / スカパー! / スカパー!プレミアムサービス |

※スマホ、PC、タブレットで視聴できる「スカパー! オンデマンドサービス」でもライブ配信決定。

詳しくはスカパー! オンデマンド公式サイトを参照



## 明治安田生命

## J3 LEAGUE



©J.LEAGUE PHOTOS

第36節で6連勝を飾り、山口と勝点で並んだ町田。首位争いはますます過熱した

第36節を10月31日、11月1、3日に開催した明治安田生命 J3 リーグは、昇格争いがにわかにヒートアップ。3試合を残し、首位のレノファ山口FCと2位のFC町田ゼルビアが勝点で並んだのだ。さらに3位のAC長野パルセイロが勝点7差で続き、この時点では首位浮上の可能性を残した。1位が自動昇格、2位が J2・J3 入れ替え戦出場となる明治安田 J3 で、今シーズン昇格したばかりの山口は第2節から首位をキープしていたものの、第24節終了時点で山口と勝点12差だった町田が急速に追いついてきた。

#### 【2015 J2・J3 入れ替え戦】

|     | 開催日       | キックオフ | 対戦カード                           | スタジアム                  | テレビ放送            |
|-----|-----------|-------|---------------------------------|------------------------|------------------|
| 第1戦 | 11月29日(日) | 12:30 | 明治安田 J3 2位チーム vs 明治安田 J2 21位チーム | 明治安田 J3 2位クラブ 開催スタジアム  | スカパー! プレミアム サービス |
| 第2戦 | 12月6日(日)  | 12:30 | 明治安田 J2 21位チーム vs 明治安田 J3 2位チーム | 明治安田 J2 21位クラブ 開催スタジアム | スカパー! プレミアム サービス |

※スマホ、PC、タブレットで視聴できる「スカパー! オンデマンドサービス」でもライブ配信決定。

詳しくはスカパー! オンデマンド公式サイトを参照

